

## 基本目標6 豊かな心を育むまち

## 個別目標6-1 いつでも学べる場と機会を充実する

## 現状と課題

## (生涯学習)

- ・生涯学習は、一人ひとりが自己啓発や生活の向上をめざし、自己にもっとも適した手段、方法で、自発的に行う学習活動であり、生きがいづくりや市民間の交流にもつながるなど、人々の心を豊かにする要素にもなっています。

## (生涯学習の現状)

- ・ワーク・ライフ・バランス\*の考え方の普及や団塊の世代の退職などが進み、生きがいづくりや自己実現に向け、生涯学習活動に取り組む市民は増えていくものと考えられます。

## (生涯学習の課題)

- ・市民の生涯学習の拠点となる学習センターでは、市民のニーズに応じた講座の充実など、より多くの市民が生涯学習に取り組める機会の提供が求められます。

## (読書の現状)

- ・読書は知識を吸収するだけでなく、感性や表現力、創造力を高めると言われており、生涯学習の一環として、読書活動の重要性はさらに高まるものと考えられます。
- ・本市においても図書館の年間図書貸出冊数が近年増加傾向にあり、また、図書貸し出し要望も多様化しています。

## (読書の課題)

- ・市民に必要とされる図書資料を提供するとともに、貸し出しや返却を含めた利便性の向上など、図書館の利用環境の充実が求められます。
- ・読書活動は、子どもの健全な心の育成に寄与し、学力の下支えにもなることから、幼い頃から読書の楽しさを伝えることが大切です。

## 取り組み方針

## (生涯学習の機会の充実)

- ・市民のライフステージに合わせながら現代的課題\*も考慮した学習機会を提供します。また、学習講座に関する積極的な情報発信や学習相談の利用促進など、生涯学習のきっかけづくりや学習活動を継続しやすい環境の充実を図ります。
- ・学習支援者となる人材や団体の育成と、その活用を積極的に進め、市民主体の生涯学習活動を促進します。

## (読書環境の充実)

- ・図書館では、幅広い分野の図書資料を収集し、魅力ある蔵書構成を目指します。また、情報通信技術の活用により、貸し出しや返却、蔵書検索など市民が利用しやすい図書館機能の充実を図ります。
- ・読書活動を支援するボランティアを養成し、読み聞かせなどを通じて幼児期からの読書習慣の形成を図るとともに、市立小中学校における教科学習での学校図書館利用や蔵書貸し出しを促進します。（個別目標2-2、7-3 参照）

## (生涯学習センター、図書館の充実)

- ・生涯学習センターや図書館を大和駅東側第4地区に建設する公益施設に移転し、より快適な学習環境や読書環境の実現に向けた機能充実を図ります。また、複合施設としての利便性を活かした取り組みを推進します。（個別目標5-1、6-3 参照）

- \* ワーク・ライフ・バランス  
 …仕事と私生活を両立させながら、個々の能力を最大限に発揮することを重視する考え方です。
- \* 現代的課題  
 …現代社会の様々な変化に対応するために学習することが求められる課題をいいます。
- \* 生涯学習ねっとわあく制度  
 …市民の学習希望に応じて、パソコン・語学・手工芸など、各分野のボランティア講師を紹介する制度です。
- \* ストーリーテリング  
 …「すばなし」、「おはなし」ともいわれ、いわゆる昔ばなしを語ることです。
- \* おはなし会  
 …子どもを対象とした読み聞かせや紙芝居、人形劇などを行います。

## めざす成果1

## 生涯学習に取り組む人が増えている

様々な学習機会が提供されることにより、生涯学習に取り組む人が増え、また、その活動成果が地域に活かされています。

## 成果を計る主な指標

| 指標名                              | 現状値<br>(2012) | 中間目標値<br>(2016) | 目標値<br>(2018) |
|----------------------------------|---------------|-----------------|---------------|
| 市民1人あたりの学習センター年間利用回数             | 4.21回         | 〇〇回             | 〇〇回           |
| ボランティア講師登録者数<br>【変更】地域学習交流事業の講座数 | 集計中           | 〇〇件             | 〇〇件           |

## 主な取り組み

- ・ボランティアや地域活動、文化芸術、郷土資料、文化財に関するものなど幅広い分野の学習機会を提供します。
- ・専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会として市民大学講座を開催します。
- ・大和駅東側第4地区に移転する生涯学習センターでは、併設する子育て支援施設と連携した家庭教育講座の実施など、より多くの市民が学習に取り組める機会を提供します。
- ・講座の内容や施設の利用方法、学習団体、ボランティアの情報など、利用者の状況に合わせた体系的な情報提供や学習相談支援を行います。
- ・生涯学習ねっとわあく制度\*により、希望に応じたボランティア講師を紹介します。
- ・学習団体が行う自主企画講座等に対し、企画運営相談、広報宣伝などの支援を行います。

## めざす成果2

## 読書をする人が増えている

豊かな人間性を育むとともに、幅広い知識を得られる読書活動の環境が整い、読書をする人が増えています。

## 成果を計る主な指標

| 指標名                              | 現状値<br>(2012) | 中間目標値<br>(2016) | 目標値<br>(2018) |
|----------------------------------|---------------|-----------------|---------------|
| 市民1人あたりの年間図書貸出冊数                 | 4.52冊         | 〇〇冊             | 〇〇冊           |
| 【新規】図書館や保育園などでのおはなし会<br>*の延べ参加者数 | 集計中           | 〇〇人             | 〇〇人           |

## 主な取り組み

- ・図書館ホームページや図書館設置端末において、蔵書の検索や予約、新着図書の情報提供などのサービスを提供します。
- ・大和駅東側第4地区に移転する図書館では、芸術文化ホールでの催しに関連する書籍を特集するなど、併設された他の施設と連携した読書のきっかけづくりに取り組みます。
- ・新刊図書やニーズの高い資料の収集や、他市図書館と蔵書の相互貸借を行います。
- ・電子書籍の導入や運用について検討を行います。
- ・読み聞かせ、ストーリーテリング\*等のボランティアを育成します。
- ・乳幼児健診時の絵本配布、図書館や保育園でのおはなし会を行います。
- ・施設見学や1日図書館員など体験学習の場の提供による児童・生徒の学習支援を行います。

基本目標 6 豊かな心を育むまち

個別目標 6－2 地域のスポーツ活動を推進する

現状と課題

（スポーツの役割や意義）

- ・スポーツは、体力の向上や健康の維持増進につながるとともに、達成感や連帯感、楽しさ、喜びなどを人々の心にもたらします。また、様々な世代間の交流が広がるなど、スポーツの果たす役割や意義は重要です。

（スポーツ活動の現状と課題）

- ・日常的にスポーツを楽しんでいる市民は増加傾向にあります。また、スポーツ活動へのニーズは多様化しており、より気軽に快適にスポーツに取り組める環境を整える必要があります。

（スポーツの関わり方の課題）

- ・より多くの市民がスポーツに親しむためには、スポーツをするだけでなく、試合を観戦することやスポーツイベントの運営に参加することなど、様々なかたちでスポーツに親しめる機会を充実させる必要があります。

取り組み方針

（するスポーツ）

- ・幅広い世代の市民が自らの体を動かし、それぞれのレベルや目的に合わせたスポーツ活動に取り組める環境を整えます。

（みるスポーツ）

- ・トップレベルのスポーツ観戦や特色のあるスポーツ大会の開催など、スポーツの魅力を感ずることのできる機会の充実を図ります。

（支えるスポーツ）

- ・スポーツ大会の運営ボランティアや指導者としてスポーツ活動に参加するなど、市民が主体的にスポーツ活動を支える機会の充実を図ります。

（総合型地域スポーツクラブの創設）

- ・市民が主体的にスポーツに関わることができる総合型地域スポーツクラブ\*の創設を目指します。

（スポーツ活動の場の提供）

- ・スポーツ関連施設の改修を計画的に実施するなど、より快適なスポーツ活動やスポーツ観戦が行える場の確保を図ります。

\* 総合型地域スポーツクラブ

…子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人が（多種目）、初心者から上級者まで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことです。

めざす成果 1

スポーツを楽しむ人が増えている

気軽にスポーツを楽しむことのできる環境が整い、スポーツ活動に参加している人が増えています。

| 成果を計る主な指標            |               |                 |               |
|----------------------|---------------|-----------------|---------------|
| 指標名                  | 現状値<br>(2012) | 中間目標値<br>(2016) | 目標値<br>(2018) |
| 日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合 | 36.1%         | 〇〇%             | 〇〇%           |
| 市民1人あたりのスポーツ施設年間利用回数 | 5.62回         | 〇〇回             | 〇〇回           |
| 【新規】総合型地域スポーツクラブの団体数 | 団体            | 〇〇団体            | 〇〇団体          |

主な取り組み

- ・スポーツフェスタや駅伝大会など幅広い世代の市民が参加できるイベントを開催します。
- ・経験や技術、体力がない人でも参加しやすいニュースポーツ\*の普及啓発を行います。
- ・近隣のプロスポーツチームの観戦の機会創出や女子サッカー大会の開催など、特色あるスポーツイベントを開催します。
- ・スポーツ推進委員及び社会体育振興委員等のスポーツ指導者の育成を支援します。
- ・総合型地域スポーツクラブ創設を目指す団体の育成や運営などの支援を行います。
- ・老朽化した公共スポーツ施設の改修を計画的に実施するとともに、観客席の整備、改修の検討を進めます。
- ・小中学校の校庭や体育館などを登録団体に開放します。

\* ニュースポーツ

…新たに考案されたり、既存のスポーツを改良したりした軽スポーツのことです。

基本目標 6 豊かな心を育むまち

個別目標 6－3 大和の文化を守り育てる

現状と課題

（文化芸術）

- ・文化芸術は、人々に楽しさや感動、精神的なやすらぎ、生きる喜びをもたらし、市民がまちに対する愛着を感じる大きな要素にもなります。

（文化芸術活動の現状）

- ・近年では物質的な豊かさよりも心の豊かさを求める人が増えており、人々の心を豊かにすることにも寄与する文化芸術活動の重要性は、今後、さらに高まると考えられます。
- ・本市においても、文化芸術の振興を促進するため、市民や団体の文化芸術活動の支援に取り組んできました。

（文化芸術活動の課題）

- ・今後は、より質の高い芸術に触れることのできる機会の創出や活動発表の場の充実が求められます。また、本市の文化芸術を市内外に発信することも重要です。

（文化財の継承）

- ・これまで受け継がれてきた郷土の歴史や文化は、かけがえのない財産となっており、後世へ引き継いでいく必要があります。

取り組み方針

（文化芸術の創造環境の充実）

- ・文化芸術活動を趣味や生きがいとして楽しむ人から、高度な技術や専門知識を持って活動する人まで、様々な状況に応じた創造活動の機会や発表の場の充実を図ります。

（文化芸術の発信）

- ・市民や団体などと連携した文化芸術イベントを開催し、大和の文化芸術の魅力発信に努めます。

（文化芸術の人材育成）

- ・文化芸術の発展を担う次世代の人材育成として、子どもの豊かな感性を育む取り組みや若者の文化芸術活動への支援を行います。

（大和駅東側第4街地区の公益施設の運用）

- ・大和駅東側第4地区に予定している公益施設では、芸術文化ホールや図書館、生涯学習センターなどの施設を融合させ、質の高い文化芸術の提供や大和の文化芸術の発信の場として効果的かつ効率的な運営を目指します。（個別目標 5-1、6-1 参照）

（文化財の保護継承）

- ・文化財や歴史資料の保護を図るとともに、次世代へ継承するための取り組みを推進します。
- ・身近な文化財についての情報を広く発信し、文化財に対する意識啓発を図りながら、文化財の更なる活用を推進します。

\*YAMATO ART100 プロジェクト  
…毎年秋に市民団体、アーティスト、行政などが開催するアートイベントをまとめた総称で、大和の文化芸術を広く発信し、アート（文化芸術）の力で、人とまちを元気にすることを目的としたプロジェクトです。

\*YAMATO イラストレーションデザインコンペ  
…若者の発表活動をサポートするとともに、大和をイラスト溢れるまちに変えていくことを目的とした公募型のコンペです

めざす成果 1

多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている

様々な分野の芸術、文化団体が組織されるなど、芸術、文化活動が活発に行われています。

| 成果を計る主な指標                 |               |                 |               |
|---------------------------|---------------|-----------------|---------------|
| 指標名                       | 現状値<br>(2012) | 中間目標値<br>(2016) | 目標値<br>(2018) |
| 芸術や文化活動が盛んに行われていると思う市民の割合 | 42.4%         | 〇〇%             | 〇〇%           |
| 文化芸術事業（市主催・共催）来場者数        | 2,857 人       | 〇〇人             | 〇〇人           |

主な取り組み

- ・市内の文化芸術イベントを広く PR する YAMATO ART 100 プロジェクト\*を実施します。
- ・学校と連携し、対話型の美術鑑賞を実施するなど子どもの文化芸術活動の支援を行います。
- ・若者の発表活動をサポートする YAMATO イラストレーションデザインコンペ\*などを開催するとともに入賞者を市の事業等に活用します。
- ・大和駅東側第4地区に設置する芸術文化ホールでは、プロの演奏家や劇団の公演、市民の活動発表など、より多くの市民が芸術に親しめる場としての運営を行います。

めざす成果 2

郷土の文化がしっかりと引き継がれている

歴史的価値のある資料が体系的に整理され、それを展示する施設を多くの人が利用しています。

| 成果を計る主な指標                       |               |                 |               |
|---------------------------------|---------------|-----------------|---------------|
| 指標名                             | 現状値<br>(2012) | 中間目標値<br>(2016) | 目標値<br>(2018) |
| 大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合 | 41.5%         | 〇〇%             | 〇〇%           |
| 歴史文化施設の利用者数                     | 67,621 人      | 〇〇人             | 〇〇人           |

主な取り組み

- ・市民と協力し、文化財の適切な保管を行います。
- ・古くから伝わる郷土の伝統や風習、無形文化財などを記録し、後継者育成に活用できるよう公開します。
- ・文化財や歴史に関する講座の開設や情報通信技術を活用した文化財の情報発信を行います。
- ・文化財所在地の案内板の整備、管理を行うとともに、市民が文化財に触れることのできる施設での企画展や体験イベントなどの実施による利用促進を図ります。